真道理性 真愛台灣
中時電子報
chinatimes.com

国内初 台北市で野生鳩から鳥インフルエンザ検出

中时电子报 www.chinatimes.com 2016-01-12 21:17 湯雅雯、劉宗龍

先週の台中市のスズメの高病原性鳥インフルエンザ感染についで、農業委員会防検局は、昨夜、台北市で野生の鳩 **1** 羽からも新型の **H5** 高病原性鳥インフルエンザが検出された。鳥類及び防疫の専門家は、皆、これが一つの大きな警鐘であり、鳥インフルエンザは既に「鳥類の種別を越えて」伝播していることを表していて、ウィルスに遺伝子変異が発生した恐れもあり、全台湾に拡がるのではないかと警告している。

農業委員会防検局は、先週木曜日に台北市文山区民がその住居の屋上に野生の鳩の死体があると通報し、検査を経て昨日これが新型の **H5** 亜型の高病原性鳥インフルエンザであると確診された。 防検局は、「国内初」のことだとしており、国内外の鳩から鳥インフルエンザが感染したという事例が極めて少ない為、台北市のノバトの死体のあったところから半径 **3** キロ以内には養鶏場はなく、動物保護処は既に消毒を強化するとともに、**H5** 鳥インフルエンザのヒトへの感染のエビデンスはなく、国民はパニックに陥ることはないとしている。

但し、台湾大学獣医系の名誉教授である頼秀穂先生は、「都市の鳩にまで感染が広がっているが、流行の深刻さは、昨年の鳥インフルエンザウィルスがまた猛威を振るいだしたことを表しているが、伝播ルートは昨年より強くなっており、台北市もまた陥落してしまった、とても酷い状態だ！」としている。

H5 型高病原性鳥インフルエンザのリスク性は、鶏やアヒル、ガチョウなどの水禽類や鳥類を含めて、家禽業者に対しても絶大な殺傷力を持っているということだ。頼秀穂医師は、現時点でウィルスのヒトヒト間感染はないとはいえ、ウィルスを体内に持つ宿主のアヒルやガチョウ等水禽の体上で遺伝子の変異が起こり得るので、各種の鳥類に感染したり、鳥ーヒト感染が発生し、台湾全土に広がったりすることもあり得るので、人類への脅威が高まるとしている。

台北市野鳥学会の何一先総幹事は、長期にわたる研究をもとに、野生の鳩が高病原性の鳥インフルエンザに感染することは比較的難しいものであり、これまでの鳥インフルエンザの野鳥モニタリングの重点は水禽類やがん、アヒル科を主としていたが、陸鳥や留鳥及び野生の鳩までもが鳥インフルエンザに感染して死んでいることから、この病気が深刻なものであり、ウィルス遺伝子の突然変異の可能性もある為、感染が過去の専一的なものから普遍的なものに変化し、将来、益々多種類の鳥類に感染するようになり『種別を跨ぐ』感染が出現することも有り得る、としている。

何一先総幹事は、「台湾では毎年の野鳥の鳥インフルエンザモニタリング数は **3～4000** に上るが、従来は、コガモ（中国語では「水鴨」）や野生のアヒルなど水禽に新型の高病原性鳥インフルエンザが検出されることはなく、旧型の低病原性鳥インフルエンザウィルスのみが検出されていた。 台湾における昨年の新型鳥インフルエンザのアウトブレイクはどこからやって来たのか、今に至るまで一つの謎となっている」。

防検局の張淑賢局長は、人々は鳥類との接触を極力避けるべきで、もし鳥に触れたり、鳥の糞を衣類につけてしまったりした場合は、速やかに石鹸を用いて徹底的に洗浄すること。 また、死んだ鳥を見つけたら拾わずに防疫単位に処置をとるようにと通知すること。 何一先総幹事もまた人々に防疫に関する宣伝指導を遵守し、公園でのノバトに餌をやったり触れたりしないこと、政府もまた都市の野生鳩や棲み処の定まらない鳩などの問題を重視すべきで、鳥インフルエンザが蔓延する温床にならないようにすべきだとしている。
（中国時報）

http://www.chinatimes.com/realtimenews/20160112005755-260401

:::::::::::::::::::::::::::::::: **以下は中国語原文** ::::::::::::::::::::::::::::::::

國內首例 北市野鴿驗出禽流感

中时电子报 www.chinatimes.com 2016-01-12 21:17 湯雅雯、劉宗龍

繼上周台中麻雀感染高病原禽流感，農委會防檢局今天傍晚公布，台北市文山區 1 隻野鴿也驗出新型 H5 高病原禽流感。鳥類及防疫專家皆警告，這是一大警訊，代表禽流感已經「跨鳥類物種」傳播，病毒恐發生重組變異，擴散至全台。

農委會防檢局表示，上周四北市文山區民眾通報其住家屋頂有野鴿屍體，經送驗後昨天確診為新型 H5 亞型高病原性禽流感。防檢局證實是「國內首例」，因國內外鴿子檢出禽流感案例極少，北市野鴿屍體半徑 3 公里內無禽場，動保處已加強消毒，並強調 H5 禽流感尚無禽傳人證據，請民眾不用恐慌。

但台大獸醫系名譽教授賴秀穗表示，連都市野鴿也中鏢，代表疫情嚴重，去年禽流感病毒又發威了，且傳播途徑比去年更強，連台北市都淪陷，很可怕！

H5 高病原禽流感的危害性，包括雞鴨鵝等水禽、鳥類，對家禽業者也有極大殺傷力。賴秀穗說，雖然目前病毒不會傳染人，但可能會在保毒宿主鴨鵝等水禽身上重組變異，感染各種鳥類，發生禽傳人，散播到整個台灣，對人類威脅提高。

台北市野鳥學會總幹事何一先指出，根據長期研究，野鴿比較不容易得高病原禽流感，過去禽流感野鳥監測重點放在水禽，又以雁鴨科為主，如果連陸禽、留鳥及野鴿都染禽流感暴斃，這代表疫情嚴重，可能病毒基因突變，感染從過去專一性變成普遍性，未來可以感染越來越多種鳥類，出現「跨物種」傳播。

何一先說，台灣每年禽流感野鳥監測 3、4000 筆，但從來沒有在水鴨、野鴨等水禽身上檢出新型高病源禽流感，僅驗出舊型低病原禽流感病毒，所以台灣去年新型禽流感大爆發，帶原者是誰，至今仍是一個謎團。

防檢局局長張淑賢呼籲，民眾應避免接觸禽鳥，若不慎碰觸或衣物沾到鳥糞，應立即用肥皂澈底清洗。若發現死亡禽鳥不要撿拾，打電話通知防疫單位處置。何一先也提醒民眾，遵守防疫宣導，不要接觸、餵養公園野鴿，官方也應該重視都市野生鴿、流浪鴿問題，避免成為禽流感蔓延溫床。
(中時電子報)

20160112C 国内初 台北市で野生鳩から鳥インフルエンザ検出（中時電子報）